

講義名	教養特講 (グローバルビジネスパーソンへのいざない)		
担当教員	三浦 玉緒		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限	授業形態	講義
履修開始年次	1年生	単位数	2
備考			

**主題と概要**  
 企業において、グローバルビジネスに携わる機会は今後益々増加することが考えられます。本科目では、グローバルビジネスの概要を理解し、実務に役立つ用語に触れ、海外取引に関する内容について英語によるE・メールコミュニケーションなどを体験することを目的としています。

**到達目標**  
 グローバルビジネスの基礎的な知識を身につける  
 グローバルビジネスの実務を事例に、英語による客先とのE・メールコミュニケーションを体験する

**提出課題**  
 中間レポート課題、期末レポート課題を課します。

**課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック**  
 Ryuka Portalあるいは、講義内で教員からフィードバックを行います。

**評価の基準**  
 中間レポート課題 50%、期末レポート課題 50%  
 中間レポートの提出は、単位取得の必須条件とします。

**履修にあたっての注意・助言他**  
 グローバルビジネスの実務における各場面で求められる内容について、如何に英語で客先に伝えるかE・メールコミュニケーションを体験することを目的としていますので、英語の文法、表現等の正確性は重視していません。企業において英語でE・メールコミュニケーションすることに事前に慣れるための授業になります。状況次第で、授業の内容や順番を変更することがあります。

教科書				

**プリント資料及び参考文献**  
 橋 弘次 『入門・貿易実務』(日本経済新聞出版社、2011)

**授業計画**

1. グローバルビジネスの事例
2. 引き合い
3. 交渉
4. 仕様決定
5. 価格交渉
6. 開業日程
7. 契約書交渉
8. 信用状
9. インコタームズ
10. 品質問題
11. 出荷条件
12. 新製品紹介
13. ビジネスポリウム
14. 海外出張
15. まとめ

状況によって、順番および内容を変更することがあります。

**授業形態(アクティブ・ラーニング)**

ア: PBL(課題解決型学習)	イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

**準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間**  
 事前に資料がPDF等でRyuka Portalにアップロードされる場合は、各自でダウンロードし、次回のテーマについて予習してください。  
 復習を行い、中間レポート、期末レポートに備えてください。  
 今回の予習・復習に4時間の字稼を確保してください。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**  
 将来、自身が関わるかもしれないグローバルビジネスの実務において、遭遇する各場面で主体的に考え、参加し、協議できるように、英語で客先とE・メールコミュニケーションする力を身につけ、グローバル企業において即戦力になることを目指した授業内容です。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**  
 対面授業の予定です。資料は、PDF等でRyuka Portalにアップロードします。オンデマンド授業を実施する場合には、視聴資料をRyuka Portalにアップロードする予定です。Ryuka Portal上の講義連絡・レポート課題を各自で確認し、レポートは所定の方法で期日を守って提出してください。

**実務経験の有無及び活用**  
 実務経験あり。企業における実務の実態を踏まえつつ、授業を進めます。

**備考**  
 新型コロナウイルス感染症の状況によりシラバス修正の可能性があります。